



**システム必要条件**  
**SASシステムリリース8.1 TS1M0**  
**Windows版**

## ソフトウェア必要条件

オペレーティングシステム	Windows 2000 Windows NT 4.0 Windows 95 / 98
Webブラウザ	Microsoft Internet Explorer 5 以降 Netscape Navigator 4.07 以降

- Windows NT 4.0環境でご利用の場合、マイクロソフト社から提供されているService Pack 4以降とY2K修正モジュールの適用が必要です。
- Windows 95環境でご利用の場合、マイクロソフト社から提供されているY2K修正モジュールの適用が必要です。
- Windows 98環境でご利用の場合、マイクロソフト社から提供されているService Pack 1を適用するか、またはWindows 98 Second Editionである必要があります。

## ハードウェア必要条件

サポートするマシン	Intel または Intel互換のプロセッサを搭載したマシン 推奨: Pentium 133MHz以上
提供媒体の形式	CD-ROM
数値演算コプロセッサ	必須ではありませんが、ご利用を強くおすすめします
メモリ容量	Windows 95 / 98      32MB以上    推奨: 64MB
	Windows NT 4.0      64MB以上    推奨: 64MB
	Windows 2000      64MB以上    推奨: 64MB
モニタ	SVGA、XGA スクリーン解像度 : 800x600以上推奨
マウス	必須

## プロダクト単位必要ディスク容量

ソフトウェアプロダクト	必要容量(Mバイト)
<b>Base SAS必須プロダクト</b>	<b>計 311.6</b>
Base SASソフトウェア(必須)	(0.6)
Core SAS(必須)	(170)
DBCSサポートファイル	(35)
日本語サポートファイル	(76)
Sharedファイル	(30)
SAS/ACCESSソフトウェアBaanインターフェイス	0.7
SAS/ACCESSソフトウェアDB2インターフェイス	0.5
SAS/ACCESSソフトウェアODBCインターフェイス	0.5

SAS/ACCESSソフトウェアOLE DBインターフェイス	0.2
SAS/ACCESSソフトウェアORACLEインターフェイス	0.6
SAS/ACCESSソフトウェアPC File Formatsインターフェイス	3.8
SAS/ACCESSソフトウェアR/3インターフェイス	170
SAS/ACCESSソフトウェアSYBASEインターフェイス	0.6
SAS/ACCESSソフトウェアTeradataインターフェイス	0.2
SAS/AFソフトウェア	5.0
SAS/ASSISTソフトウェア	20
SAS/CONNECTソフトウェア	2.6
SAS/EISソフトウェア	30
Enterprise Minerソフトウェア	86
SAS/ETSソフトウェア	20
SAS/FSPソフトウェア	0.6
SAS/GISソフトウェア	49
SAS/GRAPHソフトウェア	33
SAS/GRAPHマップデータセット	120
SAS/IMLソフトウェア	6.0
SAS/INSIGHTソフトウェア	12
SAS/Integration Technologiesソフトウェア	4.0
SAS/IntrNetソフトウェア	4.0
SAS/LABソフトウェア	7.0
SAS/MDDB Serverソフトウェア	60
SAS/ORソフトウェア	32
SAS/QCソフトウェア	24
SAS/SECUREソフトウェア	3.0
SAS/SHAREソフトウェア	68
SAS/SPECTRAVIEWソフトウェア	15
SAS/STATソフトウェア	35
SAS/TOOLKITソフトウェア	9.0
SAS/Warehouse Administratorソフトウェア	19
SASシステムビューワ	4.0
HTMLヘルプファイル	126
Microsoft 再配布モジュール	55
SAS ODBC Driver	8.0

- 現在のところ、メッセージが日本語化されているのは、Base SASソフトウェア、SAS/AFソフトウェア、Enterprise Minerソフトウェア、SAS/FSPソフトウェア、SAS/GRAPHソフトウェア、SAS/INSIGHTソフトウェアのみです。SASシステムV6において日本語化されていたSAS/ASSISTソフトウェア、SAS/EISソフトウェア

ア、SAS/LABソフトウェアはメッセージやメニュー等が英語になっています。

- SASシステムヘルプはすべて英語です。

## 各プロダクトご利用の際の必要条件

### SAS/ACCESSソフトウェアBaanインターフェイス

- ・必須プロダクト  
Base SAS ソフトウェア、SAS/ACCESS ソフトウェア Baan インターフェイス
- ・その他  
SAS/Warehouse Administrator がインストールされていれば、さらなる機能を利用することができます。
- ・サポートするBaanのバージョン  
Baan IV  
BaanERP (Baan ユーティリティーの Exchange Module が必要です。)

\*注意 SAS/ACCESSソフトウェアBaanインターフェイスを利用するには、Baanユーティリティーの Exchange Moduleが必要です。その際は、テクニカルサポートまでお問い合わせください。(連絡先は、本書最終ページに記載されています。)

### SAS/ACCESSソフトウェアDB2インターフェイス

- ・必須プロダクト  
Base SAS ソフトウェア、SAS/ACCESS ソフトウェア DB2 インターフェイス
- ・その他必要な製品  
IBM DB2 Universal Database Client Application Enabler Version 5 以降

\*注意 Windows98 にて SAS/ACCESS ソフトウェア DB2 インターフェイスをご利用の場合には、IBM DB2 Universal Database Client Application Enabler Version 5.2 以降をご利用ください。

### SAS/ACCESSソフトウェアODBCインターフェイス

- ・必須プロダクト  
Base SAS ソフトウェア、SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インターフェイス、  
Microsoft Data Access Components (MDAC) Version 2.1 以降
- ・その他必要な製品  
アクセスするデータの ODBC ドライバが必要です。このドライバは DBMS ベンダーやサードパーティーから提供されます。ネットワーク経由でアクセスする場合は、ドライバによってはさらに DBMS 関連ソフトウェアが必要になります。

SAS システム V8 より「SAS/ACCESS ソフトウェア SYBASE and SQL Server インターフェイス」が SYBASE のみに変更され、SQL Server については、「SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インターフェイス」あるいは「SAS/ACCESS ソフトウェア OLE DB インターフェイス」を使用していただくようになりました。ご契約の変更などに関しては、弊社担当営業までお問い合わせください。

SASシステム V6 にて作成した SQL Server のビューを SASシステム V8 へ移行するには、Microsoft SQL Server のコンバージョンユーティリティが必要になります。(このユーティリティは、SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インターフェイスをインストールすると自動的にインストールされる Microsoft Data Access Components (MDAC)に含まれています。)なお、移行方法に関する詳細は、『SAS システム V8e 移行ガイド Windows 版』をご参照ください。

### SAS/ACCESSソフトウェアOLE DBインターフェイス

・必須プロダクト

Base SAS ソフトウェア、SAS/ACCESS ソフトウェア OLE DB インターフェイス

・その他必要な製品

OLE DB データソースプロバイダー、Microsoft Data Access Components (MDAC) Version 2.1 以降

アクセスするデータには、OLE DB プロバイダーが必要です。この OLE DB プロバイダーは DBMS ベンダーやサードパーティーから提供されます。ネットワーク経由でアクセスする場合は、OLE DB プロバイダーによってはさらに DBMS 関連ソフトウェアが必要になります。

Microsoft Data Access Components (MDAC) は、SAS/ACCESS ソフトウェア OLE DB インターフェイスをインストールすると自動的にインストールされます。

### SAS/ACCESSソフトウェアORACLEインターフェイス

・必須プロダクト

Base SAS ソフトウェア、SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インターフェイス

・その他必要な製品

Oracle クライアント

- ・ Oracle8i クライアント Version 8.1.5 以降
- ・ Oracle8 クライアント Version 8.0.5 以降
- ・ Oracle7 クライアント Version 7.3.4 以降

Oracle クライアントが Version 7.3.4 の場合

Oracle SQL\*Net クライアント Version 2.3 for Windows NT または Windows95

Oracle クライアントが Version 8.x の場合

Oracle SQL\*Net クライアント Version 2.3 for Windows NT または Windows95 / 98

Oracle プロトコルアダプター Version 8.x for Windows NT または Windows95 / 98

「SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インターフェイス」と Oracle SQL\*Net クライアント Version 2.3 または Oracle Net8 クライアントが同じクライアントマシン上にインストールされている必要があります。「SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インターフェイス」は、Oracle クライアント Version 7.3.4 以降をサポートしていますが、サーバー上で Oracle SQL\*Net Version 2 のリスナーが起動されていれば、どのバージョンの Oracle データベースへもアクセスすることができます。

「SAS/ACCESS ソフトウェア ORACLE インターフェイス」のバルクロード機能を利用するには、Oracle SQL\*Loader dataloading ユーティリティをクライアントにインストールする必要があります。SQL\*Loader に関する詳細は、Oracle のインストレーションガイドをご参照ください。

## SAS/ACCESSソフトウェアPC File Formatsインターフェイス

### ・必須プロダクト

Base SAS ソフトウェア、SAS/ACCESS ソフトウェア PC File Formats インターフェイス

### ・その他必要な製品

Microsoft Data Access Components(MDAC) Version 2.1 以降

Microsoft Data Access Components(MDAC)は、SAS/ACCESS ソフトウェア PC File Formats インターフェイスをインストールすると自動的にインストールされます。

### ・サポートするファイル形式およびバージョン

- ・ DBF ファイル(MDAC)  
dBASE II, III, III PLUS, IV, V で作成された DBF ファイル、および他のソフトウェアで作成された DBF ファイル
- ・ DIF ファイル(Lotus 1-2-3 他)
- ・ XLS ファイル(Excel)  
Excel 4, 5, 95, 97, 2000 で作成された XLS ファイル
- ・ WK1 ファイル(Lotus 1-2-3)  
WK1, WK3, WK4 ファイル
- ・ MDB ファイル  
Access 97, 2000 ファイル

\*注意 Lotus 97 形式のファイルはサポートされていません。Lotus 97 のファイルを入力する場合は以前のリリースと互換のファイル形式で保存し直す必要があります。

## SAS/ACCESSソフトウェアR/3インターフェイス

### ・必須プロダクト

Base SASソフトウェア、SAS/ACCESSソフトウェアR/3インターフェイス

### ・その他

下記の SAS システムのプロダクトがインストールされていれば、さらなる機能を利用することができます。

- ・ SAS/Warehouse Administratorソフトウェア
- ・ SAS/CONNECTソフトウェア
- ・ SAS/SHAREソフトウェア

SAS/ACCESS ソフトウェア R/3 インターフェイスを利用するには、TCP/IP 等の通信プロトコルを必要とします。

### ・サポートするSAP R/3のバージョン

- ・ SAP R/3 Release 2.2 以降
- ・ SAP R/3 Remote Function Call Software Development Kit(RFCSDK)

## SAS/ACCESSソフトウェアSYBASEインターフェイス

### ・必須プロダクト

Base SAS ソフトウェア、SAS/ACCESS ソフトウェア SYBASE インターフェイス

- ・サポートするSYBASEのバージョン  
SYBASE Server Release 10.0.1 以降

\*注意 Sybase ASIQ Release 12.x はサポート対象外ですので、SAS/ACCESS ソフトウェア ODBC インターフェイスをご利用ください。

- ・その他必要な製品  
下記の SYBASE OPEN Client ソフトウェアが必要です。
  - ・ SYBASE OPEN Client Release 10.0.4以降
  - ・ SYBASE OPEN Client Release 11.1以降
  - ・ SYBASE OPEN Client Release 12.0

\*注意 SYBASE Open Client 11.1 をご利用の場合は修正ファイルが必要です。その際は、テクニカルサポートまでお問い合わせください。(連絡先は、本書最終ページに記載されています。)

\*注意 SYBASE Open Client 10.4 をご利用の場合は環境設定ファイルに修正を加える必要があります。詳細に関しては、テクニカルサポートまでお問い合わせください。(連絡先は、本書最終ページに記載されています。)

#### **SAS/ACCESSソフトウェアTeradataインターフェイス**

- ・必須プロダクト  
Base SAS ソフトウェア、SAS/ACCESS ソフトウェア Teradata インターフェイス
- ・サポートするTeradataのバージョン  
Teradata Version 2 Release 2 以降の Teradata DBS Server  
Teradata Utilities Foundation(TUF)Windows ソフトウェア

\*注意 TUF のバージョンが Version 6.0 より前のもの場合には、Teradata efix DR47606 を適用する必要があります。

#### **SAS/AFソフトウェアFRAMEエントリ**

- ・必須プロダクト
  - ・アプリケーション作成時  
Base SASソフトウェア、SAS/AFソフトウェア
    - SAS/GRAPH ソフトウェアの機能を使用する場合  
SAS/GRAPH ソフトウェアアプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。
  - ・アプリケーション実行時  
Base SASソフトウェア
    - SAS/GRAPH ソフトウェアの機能を使用する場合  
SAS/GRAPH ソフトウェアアプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。

・プリンタ

グラフィックスオブジェクトをプリントアウトするには、カラーまたはグレースケールのプリンタが必要です。

グラフィックスオブジェクトを使用しない場合は、オブジェクトによってSAS/GRAPHソフトウェアが必要になることがあります。

### SAS/AFソフトウェア ビデオ再生オブジェクト

・ハードウェア

サウンドブラスター互換オーディオボード  
スピーカー

MCI Microsoft Video for Windows ドライバ

MCI 準拠 MPEG ボード

256 色以上のビデオボード (65K,16.7M 色推奨)

### Base SASソフトウェア ビデオ再生

Base SASソフトウェアのビデオ再生機能により映像ファイルを再生することができます。ビデオ再生オブジェクト(クラス)は、SAS/AFソフトウェアの一部ですが、ビデオ再生機能自体はBase SASソフトウェアに含まれています。

・ハードウェア

サウンドブラスター互換オーディオボード  
スピーカー

MCI Microsoft Video for Windows ドライバ

MCI 準拠 MPEG ボード

256 色以上のビデオボード (65K,16.7M 色推奨)

### SAS/CONNECTソフトウェア

#### ■Windows95 / 98の場合

・APPCアクセス方式

Microsoft Windows Open Services Architecture(WOSA)規格のWinAPPCに準拠したネットワークソフトウェアが必要です。

次のソフトウェアのうち、いずれかが必要です。

- ・ Microsoft SNA Server, Version 2.11 SP1 (Service Pack 1)以降
- ・ IBM Personal Communications Version 4.11以降

・DECnetアクセス方式

次のソフトウェアが必要です。

- ・ DEC Pathworks Version 32 with Microsoft's Winsock Version 2.0

・EHLLAPIアクセス方式

次のソフトウェアのうち、いずれかが必要です。

- ・ Wall Data Rumba 2000, Version 6以降
- ・ Attachmate EXTRA Personal Client, Version 6.1 以降
- ・ Exceed Version 6.1 以降
- ・ IBM PCCOMM(Personal Communications) Version 4.1 以降

- ・NetBIOSアクセス方式  
Windows95 / 98 に標準でバンドルされている NetBEUI プロトコルをサポートしています。
- ・TCP/IPアクセス方式  
Windows95 / 98 に標準でバンドルされている TCP/IP プロトコルをサポートしています。

## ■Windows NTの場合

- ・APPCアクセス方式  
Microsoft Windows Open Services Architecture(WOSA)規格の WinAPPC に準拠したネットワークソフトウェアが必要です。

次のソフトウェアのうち、いずれかが必要です。

- ・ Microsoft SNA Server, Version 2.11 SP1 (Service Pack 1)以降
- ・ IBM Personal Communications Version 4.11 以降
- ・ IBM Personal Communications Version 5.0 以降

- ・DECnetアクセス方式  
次のソフトウェアが必要です。  
・ DEC Pathworks 32 Version 4.1B 以降

- ・EHLLAPIアクセス方式  
次のソフトウェアのうち、いずれかが必要です。  
・ Wall Data Rumba 2000, Version 6以降  
・ Attachmate EXTRA Personal Client, Version 6.1 以降  
・ Exceed Version 6.1 以降  
・ IBM PCCOMM(Personal Communications)Version 4.1 以降

- ・NetBIOSアクセス方式  
Windows NT に標準でバンドルされている NetBEUI プロトコルをサポートしています。
- ・TCP/IPアクセス方式  
Windows NT に標準でバンドルされている TCP/IP プロトコルをサポートしています。

## SAS/EISソフトウェア

- ・必須プロダクト
  - ・アプリケーション作成時  
Base SAS ソフトウェア、SAS/AF ソフトウェア、SAS/FSP ソフトウェア、SAS/GRAPH ソフトウェア、SAS/EIS ソフトウェア  
(アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。)
  - ・アプリケーション実行時  
Base SAS ソフトウェア、SAS/GRAPH ソフトウェア、SAS/EIS ソフトウェア  
(アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。)
- ・メモリ  
96MB 以上 推奨 : 128MB 以上

## Enterprise Minerソフトウェア

- ・必須プロダクト(サーバーPCプラットフォーム)  
Base SAS ソフトウェア、SAS/CONNECT ソフトウェア、Enterprise Miner ソフトウェア、SAS/ETS ソフト

ウェア、SAS/GRAPH ソフトウェア、SAS/STAT ソフトウェア

・メモリ

512MB 以上

・必須プロダクト(クライアントPCプラットフォーム)

Base SAS ソフトウェア、Enterprise Miner ソフトウェア、SAS/CONNECT ソフトウェア、SAS/EIS  
ソフトウェア、SAS/ETS ソフトウェア、SAS/FSP ソフトウェア、SAS/GRAPH ソフトウェア、  
SAS/INSIGHT ソフトウェア、SAS/MDDDB Server ソフトウェア、SAS/OR ソフトウェア、SAS/STAT  
ソフトウェア

\*注意 Enterprise Miner クライアント PC プラットホームには、評価版機能である Enterprise Miner C\*Score があります。Enterprise Miner C\*Score は、Data ステップの Score コードを C 言語に変換する機能を持っています。この機能は英語版においても評価版です。また、多バイト文字(日本語等)の処理を考慮した C プログラムにはなっていません。この機能は、将来のバージョンで変更される可能性があります。

・メモリ

48MB 以上

## SAS/GISソフトウェア

・必須プロダクト

・アプリケーション作成時

Base SASソフトウェア、SAS/AFソフトウェア、SAS/GISソフトウェア、SAS/GRAPHソフトウェア  
アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。

・アプリケーション実行時

Base SASソフトウェア、SAS/FSPソフトウェア、SAS/GISソフトウェア、SAS/GRAPHソフトウェア  
アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。

・プリンタ

グラフィックスオブジェクトをプリントアウトするには、カラーまたはグレースケールのプリンタが  
必要です。

グラフィックスオブジェクトを使用しない場合は、オブジェクトによってSAS/GRAPHソフトウェアが  
必要になることがあります。

・ハードウェア

256色以上のビデオボード (65K,16.7M色推奨)

## SAS/IntrNetソフトウェア

### CGIツールとアプリケーション

■アプリケーションディスパッチャー

□必須プロダクト

Base SASソフトウェア、SAS/IntrNetソフトウェア

\*注意 アプリケーションディスパッチャーのコンポーネントは、Web サーバーにインストールす

る必要があります。

■htmSQL

必須プロダクト

Base SASソフトウェア、SAS/SHAREソフトウェア、SAS/IntrNetソフトウェア(ライセンス)

\*注意 htmSQL のコンポーネントは、Web サーバーにインストールする必要があります。

■MDDBLレポートビューワ

必須プロダクト

Base SASソフトウェア、SAS/GRAPHソフトウェア、SAS/IntrNetソフトウェア、SAS/EISソフトウェアまたはSAS OLAP Serverソフトウェア

\*注意 アプリケーションディスパッチャーのコンポーネントを Web サーバーにインストールする必要があります。

■Xplore Sample Webアプリケーション

必須プロダクト

Base SASソフトウェア、SAS/IntrNetソフトウェア

\*注意 アプリケーションディスパッチャーのコンポーネントを Web サーバーにインストールする必要があります。

**Java Toolsとアプリケーション**

■SAS/CONNECT Driver for Java

必須プロダクト

Base SASソフトウェア、SAS/CONNECTソフトウェア、SAS/ IntraNetソフトウェア、SAS/SHAREソフトウェア(データサービスを使用する場合)

\*注意 Java ToolsパッケージをWebサーバーかクライアントにインストールする必要があります。

■Tunnel 機能

UNIXまたはWindowsのWebサーバーにインストールする必要があります。

■メタスペースエクスプローラアプレット

必須プロダクト

Base SASソフトウェア、SAS/SHAREソフトウェア、SAS/IntraNetソフトウェア

**SAS/LABソフトウェア**

・必須プロダクト

Base SAS ソフトウェア、SAS/GRAPH ソフトウェア、SAS/LAB ソフトウェア

(データの内容確認、修正用に SAS/FSP ソフトウェアのご利用をおすすめします。)

**SAS/MDDB Serverソフトウェア**

・メモリ

必要メモリは、生成される階層の複雑さ(次元の数)に依存します。階層が複雑になるほど必要メモリは増加します。

48MB 以上 推奨 : 64MB 以上

## SAS OLAP Serverパッケージ

### ・必須プロダクト

Base SAS ソフトウェア、SAS/MDDDB Server ソフトウェア、SAS/AF ソフトウェア、SAS/GRAPH ソフトウェア

## SAS/SECUREソフトウェア

Microsoft社がcryptographic serviceへアクセスするためにのアプリケーションプログラミングインターフェイスとして提供しているCryptoAPIは、下記のものに含まれています。

- ・ Windows 95 (Internet Explorerの一部)
- ・ Windows NT (Service Pack 3以降がインストールされている場合は、オペレーションシステム一部)

CryptoAPIを使用するWindowsホストには下記のいずれかをインストールする必要があります。

- ・ Microsoft Base Cryptographic Service Provider
- ・ Microsoft Enhanced Cryptographic Service Provider

## SAS/SHAREソフトウェア

### ■Windows95 / 98の場合

#### ・APPCアクセス方式

Microsoft Windows Open Services Architecture(WOSA)規格のWinAPPCに準拠したネットワークソフトウェアが必要です。

次のソフトウェアのうち、いずれかが必要です。

- ・ Microsoft SNA Server, Version 2.11 SP1 (Service Pack 1)以降
- ・ IBM Personal Communications Version 4.11 以降

#### ・DECnetアクセス方式

次のソフトウェアが必要です。

- ・ DEC Pathworks Version 32 with Microsoft's Winsock Version 2.0

#### ・NetBIOSアクセス方式

Windows95 / 98 に標準でバンドルされている NetBEUI アクセス方式をサポートしています。

#### ・TCP/IPアクセス方式

Windows95 / 98 に標準でバンドルされている TCP/IP プロトコルをサポートしています。

### ■Windows NTの場合

#### ・APPCアクセス方式

Microsoft Windows Open Services Architecture(WOSA)規格のWinAPPCに準拠したネットワークソフトウェアが必要です。

次のソフトウェアのうち、いずれかが必要です。

- ・ Microsoft SNA Server, Version 2.11 SP1 (Service Pack 1)以降
- ・ IBM Personal Communications Version 4.11 以降

#### ・DECnetアクセス方式

次のソフトウェアが必要です。

- DEC Pathworks 32
- NetBIOSアクセス方式  
Windows NT に標準でバンドルされている NetBEUI アクセス方式をサポートしています。
- TCP/IPアクセス方式  
Windows NT に標準でバンドルされている TCP/IP プロトコルをサポートしています。

### **SAS/SPECTRAVIEWソフトウェア**

- ハードウェア  
スクリーン解像度 : 800x600 以上  
256 色以上のビデオボード

### **SAS/Warehouse Administratorソフトウェア**

- 必須プロダクト
  - アプリケーション作成時  
Base SAS ソフトウェア、SAS/AF ソフトウェア、SAS/Warehouse Administrator ソフトウェア
  - アプリケーション実行時  
Base SAS ソフトウェア、SAS/Warehouse Administrator ソフトウェア  
(アプリケーションに応じてその他のプロダクトが必要になる場合があります。)
- メモリ  
64MB以上
- CPU  
Pentium プロセッサ 200MHz 以上
- プリンタ  
グラフィックスオブジェクトをプリントアウトするには、カラーまたはグレースケールのプリンタが必要です。  
グラフィックスオブジェクトを使用していない場合は、オブジェクトによってSAS/GRAPHソフトウェアが必要になることがあります。

## その他の機能について

### Webブラウザ

下記の2つの機能を利用するには、Webブラウザが必要です。なお、Webブラウザは、Internet Explorer Version5以降またはNetscape Navigator Version 4.07以降をご利用ください。

- ・ SASシステムV8のOutput Delivery System(ODS)によって生成されたHTML形式のアウトプットの閲覧
- ・ HTML形式のオンラインヘルプの閲覧

### SASシステムビューワ

SASシステムビューワは、SASデータセットの内容やSASカタログのエントリ一覧などを表示するためのアプリケーションです。SASシステムビューワは、Windows版SASシステムとは別個のアプリケーションで、SASシステムがインストールされていなくても使用できます。

次のSASシステムのファイルを表示できます。

- ・ リリース6.04以降のDOS版、Windows版、OS/2版SASシステムにより作成されたSASデータセット(圧縮または暗号化されていても読むことができます)
- ・ Windows版、OS/2版SASシステムにより作成されたSASカタログ
- ・ SASプログラム(.sasファイル)、OUTPUTファイル(.lstファイル)、LOGファイル(.logファイル)、テキストファイル(.txt)、環境設定ファイル(.cfg)
- ・ JMPソフトウェアにより作成されたファイル(.JMPデータファイル)
- ・ SASシステムV8によって生成されたHTMLファイル

ローカルのWindowsマシンにSAS/CONNECTソフトウェアがインストールされていれば、VMS、Macintosh、UNIX、OS/2、Windows、DOSの各プラットフォーム版SASシステムで作成されたSASデータセットやSASカタログをHTTPやFTPプロトコルを利用してネットワーク経由で表示することもできます。

### ODBC (Open DataBase Connectivity)

Base SASソフトウェアは、32bitのODBCドライバを提供します。これらのODBCドライバを用いて、ODBCに準拠した他のWindowsアプリケーションからローカルマシンまたはリモートマシン上のSASデータセットを表示、更新することができます。また、DB2などの他のデータベーステーブルにアクセスするために作成されたSASデータビューを表示することもできます(この場合は更新できません)。これらODBCサーバーとしての機能は、Base SASソフトウェアに含まれます。また、ODBCドライバを用いてリモートマシンのSASデータセットまたはSASデータビューにアクセスするためには、リモートマシン上のSASシステムにBase SASソフトウェア、SAS/SHAREソフトウェアが必要です。

### Windows NTパフォーマンスモニタとイベントログ

Windows NTのパフォーマンスモニタからSASシステムをモニタリングすることができます。また、Windows NTのイベントログへSASシステムのインストール結果と実行結果を出力できます。なお、詳細に関しては、オンラインヘルプをご参照ください。

### DDE (Dynamic Data Exchange)

DDE(Dynamic Data Exchange)機能を用いて、SASシステムと他のDDEをサポートするアプリケーションとの間でデータをやり取りすることができます。SASシステムは、DDEクライアントとしてのみ実行することができます。本機能は、Base SASソフトウェアに含まれます。

## OLE (Object Linking and Embedding) 2.0

- ・ SAS/AFソフトウェアとSAS/EISソフトウェアでOLE 2.0の次の機能をサポートしています。
- ・ 埋め込みオブジェクト・リンクオブジェクトの利用
- ・ SCLプログラムによる他のOLEオートメーションサーバー対応アプリケーションのコントロール
- ・ OLEコントロール(OCX)の利用
- ・ ビジュアル編集(インプレイス編集)
- ・ OLEオブジェクトのドラッグ&ドロップ

また、SASシステムはOLEオートメーションサーバーにも対応していますので、Microsoft Visual BasicなどのOLEオートメーションコントローラからSASシステムをコントロールすることができます。OLEオートメーションサーバーの機能は、Base SASソフトウェアに含まれます。

## 電子メール機能

DATAステップやSCLプログラムを用いて電子メールを送信することができます。本機能は、Base SAS ソフトウェアに含まれます。電子メール機能を利用するためには、Microsoft ExchangeやMicrosoft Mail 3.2以降、Lotus cc:Mail 8.1(32bitバージョンのみ)やLotus Notes 4.0以降(32bitバージョンのみ)などのMAPI(Messaging API)またはVIM(Vendor Independent Messaging)に準拠した製品がインストールされている必要があります。なお、SMTPを使用するメールサーバーへアクセスするにはMAPIが必要です。

## Lotus Notesアクセス

Lotus Notesアクセス方式(NOTESDB)を用いて、SASシステムから直接Lotus Notesデータベースに情報を追加することができます。本機能は、Base SASソフトウェアに含まれます。Lotus Notesアクセス方式を利用するためには、クライアントマシンにLotus Notesクライアントがインストールされている必要があります。また、サポートしているLotus NotesはLotus Notes 4.0 (32bit版)以降です。

## Catalog、FTP、Socketアクセス方式

### ・CATALOGアクセス方式

SASカタログを外部ファイルとして参照するためのアクセス方式です。キーワード CATALOG を指定してカタログにファイル参照名を割り当てると、外部ファイルへアクセスするための SAS コマンド、ステートメント、プロシジャのいずれかを使用することにより SAS カタログへアクセスすることができます。

### ・FTPアクセス方式

FTP(File Transfer Protocol) を使用するためのアクセス方式です。FTPアクセス方式を指定すると、FTP サーバー稼働しているネットワーク上で接続できる任意のホストコンピュータからファイルへの読み書きが可能です。このアクセス方式により、ホストコンピュータへの接続、FTP サーバーへのログイン、読み書き可能な指定ファイルでのレコード作成、およびホストコンピュータとの接続と解除を行うことができます。

### ・SOCKETアクセス方式

SOCKET アクセス方式では、クライアントまたはサーバーモードのとき、ソケット経由で他のアプリケーションと通信できます。クライアントアプリケーションとサーバーアプリケーションは、同一コンピュータまたはネットワークで接続した別々のコンピュータ上に置くことができます。

## 再インストールサポート

SASシステムV8のインストール中の[サーバーオプション]ダイアログにて、[ネットワーク上のサーバからインストールできるようにSASシステムのインストールイメージをインストールしますか?]&#x2D;との質問に、[はい]を選択して[次へ]をクリックするとSASシステムはセットアップサポートファイルとヘルプシステムを含む再インストールサポートイメージを作成します。この再インストールサポートイメージを利用すれば、コンプリートパーソナルインストール、カスタムパーソナルインストールを実行することができます。なお、再インストールサポート、コンプリートインストール、カスタムインストールに関するの詳細は、『インストレーションガイド SASシステムリリース8.1 TS1M0 Windows版』をご参照ください。

\*注意 このインストールモードはSASシステムの全プロダクトをインストールしますので、ディスクスペースに十分な空き容量が必要です。

## SAS/GRAPHソフトウェア サポートデバイス一覧

グラフ出力機器の互換性について

\*注意 本資料に掲載されていない他のメーカーのグラフィックデバイスでも掲載されているデバイスをエミュレートしているものがあります。ただし、エミュレーションのレベルによってSAS/GRAPHソフトウェアで正しく使用できないものもありますのでご注意ください。

### プリンタ

SAS/GRAPHソフトウェアは、Microsoft Windows プリンタ ドライバを用いて任意のプリンタへ出力することが可能です。この場合、SASシステムのWINPRTM(モノクロプリンタ用)、WINPRTG(グレイスケール出力用)もしくはWINPRTC(カラープリンタ用)ドライバを経由して出力します。さらに、一部のプリンタについてはSASシステム独自のドライバを用意しています。

つぎに、SASシステム独自のドライバを用意しているプリンタの一部を記載します。

CalComp ColorMaster,ColorMaster Plus, PlotMaster
Canon Bubble Jet, Canon LaserShot
Digital printer (SIXEL, HP PCL, Tektronix, PostScriptエミュレーションモードのいずれかをサポートするもの)
Epson FX and LQ series (およびEpsonエミュレーションモードで動作するプリンタ)
Hewlett-Packard LaserJet, DeskJet, PaintJet, DesignJet printer (およびHP互換プリンタ)
IBM Graphics, Proprinter, Colorjet printer
PostScript printer (カラー、グレイスケールPostscript printerを含む)
QMS Colorgrafix (CGMインタープリタ使用)
QMS 800, 1200, 1500, 2200, 2400 (QUIC またはTektronixエミュレーションモード使用)
Talaris 800, 802, 1200, 1500, 2400 (QUIC またはTektronixエミュレーションモード使用)
Talaris Printers (EXCL言語使用)
Tektronix Phaser printer (全モデル)
Tektronix 4693 Printers (Tektronix 4510 Rasterizer使用)
Xerox 2700 and 4045 (GRAPHX カートリッジ使用)
Xerox 3700 (イメージボードと最低1MBのメモリ使用)
Xerox 4213, 4235, 4700
Xerox 5775カラーコピー (EFI Fiery使用)

上記リストに掲載されていないプリンタにつきましては、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

### プロッタ

SAS/GRAPHソフトウェアは、Microsoft Windowsプロッタドライバを用いて任意のプロッタへ出力することが可能です。この場合、SASシステムのWINPLOTドライバを経由して出力します。

さらに、つぎのプロッタについてはSASシステム独自のドライバを用意しています。

HP-GLまたはHP-GL/2言語をサポートするHewlett-Packard製プロッタ  
HP-GLまたはHP-GL/2互換プロッタ  
DMPL言語をサポートするHouston Instruments製プロッタ  
GML言語をサポートするZETA製プロッタ

## フィルムレコーダ

SAS/GRAPHソフトウェアは、Microsoft Windowsフィルムレコーダ ドライバを用いて任意のフィルムレコーダへ出力することが可能です。この場合、SASシステムのWINPRTCDライバを経由して出力します。

さらに、つぎのフィルムレコーダについてはSASシステム独自のドライバを用意しています。

Genigraphics Masterpiece Camera System with SCODL Interface  
Lasergraphics MPS 2000 film recorder with a Lasergraphics UI-100 or RASCOL rasterizer  
Matrix QCR and PCR cameras with Matrix QVP, MVP, or Lasergraphics rasterizers  
Polaroid Palette CI-3000 and CI-5000  
Presentation Technologies Montage film recorder

## 他のグラフィックソフトウェアとのインターフェイス

SAS/GRAPHソフトウェアには、バイナリーもしくはクリアーテキスト形式のコンピュータグラフィックスメタファイル (CGM)を作成するドライバが含まれています。これによってSAS/GRAPHソフトウェアの出力をWord for Windows やWord Perfect for Windows、Harvard Graphics、Lotus FreelanceのようなCGM形式のファイル入力をサポートしているソフトウェアに読み込むことができます。

また、HP-GL (ヒューレット・パッカード グラフィック言語)形式のファイルへの出力もできますので、HP-GL形式をサポートしているソフトウェアへもグラフ出力内容を受け渡すことができます。

その他、SAS/GRAPHソフトウェアでは次のフォーマットのグラフデータを作成することができます。

- BMP - Microsoft Windows Bitmap
- DIB - Device Independent Bitmap
- EMF - Microsoft NT Enhanced Metafile
- EPSI - Encapsulated PostScript Interchange
- GIF - Graphics Interchange Format
- JPG - JPEG Files
- PBM - Portable Bitmap
- PS - PostScript Bitmap
- TIFF - Tagged Image File Format
- WMF - Microsoft Windows Metafile Format

また、SAS/GRAPHソフトウェアでは次のフォーマットのグラフを読み込むことができます。

- BMP - Microsoft Windows Bitmap

- DIB - Device Independent Bitmap
- EMF - Microsoft NT Enhanced Metafile
- EPSI - Encapsulated Postscript Interchange
- GIF - Graphics Interchange Format
- JPG - JPEG Files
- PBM - Portable Bitmap
- PCD - PHOTO CD
- PCX - PC PaintBrush
- PNG - PC Portable Network Graphics
- TGA - TARGA format
- TIF - Tagged Image File Format
- WMF - Microsoft Windows Metafile Format
- XBM - X Window Bitmaps
- XWD - X Window Dump

### ActiveXとJavaデバイスドライバによって作成されたHTMLファイルの閲覧

SASシステムV8では、ActiveXとJavaデバイスドライバを利用してHTMLファイルを作成することができます。

ActiveXデバイスドライバを利用して作成されたHTMLファイルは、Windows上にてInternet Explorer 5以降を使用する以外に閲覧する方法がありません。

Javaデバイスドライバを利用して作成されたHTMLファイルを閲覧するには、下記のオペレーティングシステムおよびWebブラウザが必要です。

Webブラウザ	オペレーティングシステム
Netscape Navigator Version 4.08以降	AIX/6000、HP-UX、Solaris、ABI for Intel、IRIX、Tru64
Netscape Communicator Version 4.04 for Warp 4	OS/2
Internet Explorer Version 5 (Java VM 5.0.0.3167以降) Netscape Navigator Version 4.07以降	Windows 95 / 98、Windows NT、 Windows2000

システム必要条件SASシステムリリース8.1 TS1M0 Windows版

---

2000年11月1日 2版第1刷発行

発行元 株式会社SASインスティテュートジャパン

〒104-0054 東京都中央区勝どき1-13-1 イヌイビル・カチドキ8F

電話 03(3533)3760

---

**本書の内容に関する技術的なお問い合わせは下記までお願い致します。**

SASテクニカルサポート

**TEL:03 (3533) 3877**

**FAX:03 (3533) 3781**